

2009 年度 初の全体朝礼 4月9日（金）

今年度は新たな取り組みとして、先生方が輪番で白鹿洞書院掲示斉唱の先導や講話を行うことになりました。その第1回目となった4月9日は教育相談の堂野先生のお話でした。4月の月間目標である“姿勢”についてのお話でした。心に沁みる分かりやすいお話で、よい1年のスタートをきることができました。



「私は、伝統ある、興譲館の生徒です！」
のご唱和の聲が高らかに響き渡りました。



全校そろっての「白鹿洞書院掲示」
斉唱。1年生は先輩たちの元気な力強い
声に驚いたことでしょうか。156年
間、多くの先輩や先生方が唱え続けた
大切な校訓です。早く覚えて一緒に斉
唱しましょうね。

堂野先生のお話から

聞く姿勢には2つの意味があります。それは、はじめとしての姿勢と、相手を理解しようとする姿勢です。人は、相手を理解しようとするれば、まず耳を傾けて聞こうとします。それでも理解できなければ相手の表情から読み取ろうとします。そして心で聞いて理解しようとする。そうすると、自然に身体はその人の方を向きますよね。「聴」という漢字は耳に真っ直ぐな心と書きます。本校が大切にしている徳という漢字にも真っ直ぐな心という意味が含まれています。相手を理解しよう、と真っ直ぐな心で姿勢を正して聴くことこそが、徳力を高める第一歩となります。

皆さんも相手の言葉や見た目ですら判断するのではなく、心で聴いて相手を理解しようと努力してみてください。

